

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江市自然休養村センター・松江市豪農屋敷
 指定管理者 忌部空山地域振興協議会
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日

1. 総合評価

市	B	<p>【優れていると評価した点】 ○年間を通じて意欲的に施設及び設備管理に努め、適切な環境整備を実施している。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 ○豪農屋敷の有料使用者数は対前年比で増加したが、無料使用者数を加えた総使用者数は減少しているため、引き続き集客につながるイベント等の実施と施設のPRが必要である。</p>
---	---	---

指定管理者	B	<p>【優れていると評価した点】 ○利用者の安全確保や親切・丁寧な対応に心掛け実践した。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 ○豪農屋敷の宿泊者数が増加したことにより有料使用者数が増加したが、総使用者数が減となっているため、イベントを開催する中で施設のPRに努め、さらなる使用者数の増につなげたい。</p>
-------	---	---

2. 施設使用の増減について

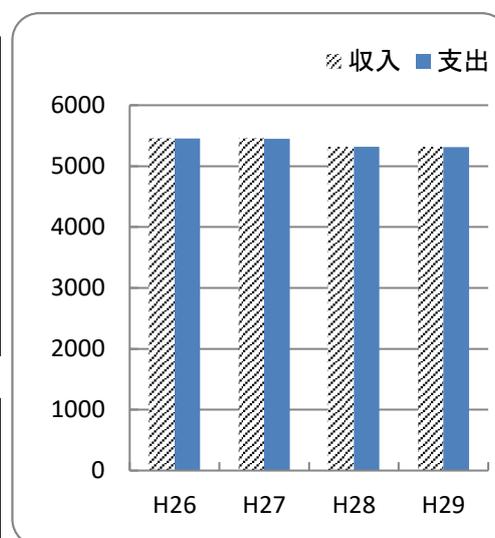
総括	<p>○施設使用者数は昨年より減少しているが、豪農屋敷の宿泊者数が増加した結果、有料使用者数及び使用料収入とも増加した。</p>
----	--

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度		H26	H27	H28	H29
施設の収支	収入	5,460	5,460	5,317	5,317
	うち指定管理料	5,460	5,460	5,317	5,317
	うち利用料	0	0	0	0
	支出	5,456	5,449	5,317	5,312
	差引	4	11	0	5

上記以外の市の収入、支出

市の収支	収入(使用料)	175	183	161	265
	支出	3,679	3,604	1,112	1,182
	うち市の修繕費	294	200	0	0

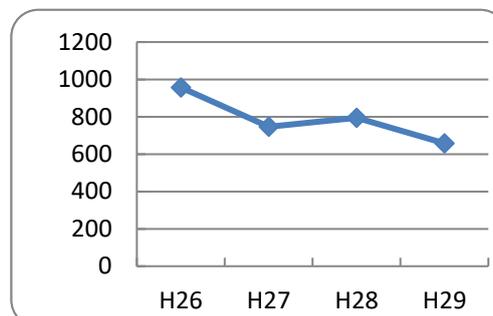


指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江市自然休養村センター・松江市豪農屋敷
 指定管理者 忌部空山地域振興協議会
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日

(2) 使用者の推移

(人)			
H26	H27	H28	H29
957	747	794	658



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	豪農屋敷使用者数(有料使用者数)	345	350	306	87.4%	88.7%
アウトカム	忌部自然休養村全体の利用者数	1,087	1,100	2,081		
				達成度平均	87.4%	88.7%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 ○有料使用者数は、対前年比214%、使用料収入は165%の増となった。地元の各種団体に使用を働きかけたり、イベント等で来場者に古民家の良さをPRしてきたが、今後も一層力を入れて有料使用者の増につなげたい。	【達成度の原因・分析】 ○イベントの実施や広報活動に取り組まれた結果、宿泊者数が増加し、有料使用者数・収入とも増加した。今後とも各種イベント等を通じてPR活動を強化し、さらなる有料使用者数の増加に努める必要がある。

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江市自然休養村センター・松江市豪農屋敷
 指定管理者 忌部空山地域振興協議会
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
23	①満足している 21件(91.3%) ②どちらともいえない 2件(8.7%) ③満足していない 0件(0%)	①良い ・職員が親切で気持ちよく利用できた。 ・清掃が行き届いていた。 ②苦情 ・県道からの案内看板が不備である。 【対応】簡易な誘導看板の充実を図った。 ③要望 ・ウォシュレットの便座にしてほしい。 【対応】男女1基ずつウォシュレットを設置

(4)住民サービス向上の事例

○最寄りの商店から遠く離れた場所にあり、売店、自動販売機の設置及び日曜喫茶の営業などを通じて、飲食の提供を行い、利用者の利便性の向上を図っている。

3. 自主事業

総括	○自然休養村センターにおける忌部高原産の野菜及び苗の販売や日曜喫茶の営業、豪農屋敷でのお茶会などのイベント開催による来場者の増加に取り組んだ。
実施状況	○自然休養村センター売店:地元農家からの農産物直売や手芸・工芸品等の販売(4月～11月) ○自然休養村センター日曜喫茶(4月～11月毎日曜日:営業時間9:00～17:00) ○観光農園:貸し農園(年間) ○いも掘り体験:さつま芋掘り(9月末から10月末) ○豪農屋敷お茶会:裏千家のお茶会(H29度実績10月21日・22日:2日間開催)

4. 特記事項

○特になし

5. 今年度の目標・課題

○売店、日曜喫茶、観光農園、いも掘り体験の実施及び豪農屋敷お茶会などのイベント開催を通じて、忌部自然休養村の存在を新聞やテレビなどのマスコミ媒体、市報及びブログなどを活用してPRし、豪農屋敷の有料使用数の増加につなげていく。